

笠置町まち・ひと・しごと創生戦略 掲載目標値達成状況（令和5年度末）

1. 「新しい人のつながりと流れをつくり、まちを活性化する」として掲げる目標値実績

基本目標その1：移動数（転入－転出）

（単位：人）

移動数		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	計
（転入－転出）	転入者数①	19	23	18		60
目標値：△37人	転出者数②	25	35	28		88
（計画期間累計）	差引①－②	△6	△12	△10		△28

【目標値設定根拠】

前期戦略期間（平成27年度から令和2年度）において、移動数が△111人の実績となっていました。1年あたりの平均が△18.5人であったので、その半分の移動数として△9.25人、今期計画期間（令和3年度から令和6年度）4年間で△9.25人×4年＝△37人を目標設定しています。

基本目標その2：観光入込客数

（単位：人/年）

目標値：206,000人/年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
	134,621	186,531	161,078	

【目標値設定根拠】

令和元年（新型コロナウイルス感染症の影響前）の入込客数程度を目標設定しています。
 《令和元年観光入込客数内訳》
 笠置寺：5,109人、ハイキング：8,731人、キャンプ・カヌー：86,116人、ゴルフ：49,301人、夏祭り・鍋フェスタ：20,000人、いこいの館：34,478人、宿泊：2,274人（計206,009人）

【所管課評価】

令和4年は徐々に笠置キャンプ場やかさぎゴルフ倶楽部等、アウトドアを中心とするレジャー施設の利用が増加傾向にありましたが、徐々に新型コロナの影響も治まると同時にアウトドアブームも落ち着きを見せており、令和5年は少し減少傾向にあります。

一方で海外からの渡航が是正されつつある社会情勢により、インバウンドも回復傾向にあると考えます（商工観光課）。

※観光入込客数は笠置寺や観光協会、笠置ゴルフ倶楽部、四季彩祭実行委員会など各事業者からの報告によるもの

《令和5年 実績数値》

笠置寺：5,956人、ハイキング：1,356人、キャンプ・カヌー：99,735人、ゴルフ：51,031人、もみじまつり：3,000人、宿泊：2,081人（計163,159人）

※令和4年のハイキング入込客数の計算方法に誤りがあり、令和5年分において計算方法の見直しを行ったため大きく減少しています。

笠置町まち・ひと・しごと創生戦略 掲載目標値達成状況（令和5年度末）

基本目標その3：観光消費額

（単位：千円/年）

目標値：651,000千円/年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
	635,475	692,118	684,293	

【目標値設定根拠】

令和元年度（新型コロナウイルス感染症の影響前）の観光消費額を目標設定しています。

《令和元年度観光消費額内訳》

笠置寺：1,530千円、ハイキング：8,032千円、キャンプ・カヌー：41,627千円、ゴルフ：523,600千円、夏祭り・鍋フェスタ：11,400千円、いこいの館：43,199千円、宿泊：21,353千円（計650,741千円）

【所管課評価】

観光入込客数の減に伴い、町内の観光消費額についても減少しています。

加えて、令和6年度より町イベントの再開を計画しており、更なる交流人口・関係人口の拡大を図ることで観光消費額の増に繋がります（商工観光課）。

※事業者からの報告による（一人当たりの入場料×人数、土産物の販売等）

《令和5年 実績数値》

笠置寺：1,783千円、ハイキング：1,999千円、キャンプ・カヌー：50,927千円、ゴルフ：609,267千円、もみじまつり：21千円、宿泊：2,081千円（計684,293千円）

※ハイキングの金額の減少理由については入込客数の減少理由と同じです。

観光入込客数及び観光消費額（再掲）

（単位：人/年、千円/年）

区分	令和元年			令和5年		
	観光入込客数 (人/年)	観光消費額 (千円/年)	1人当たり 観光消費額(円)	観光入込客数 (人/年)	観光消費額 (千円/年)	1人当たり 観光消費額(円)
笠置寺	5,109	1,530	299	5,956	1,783	299
ハイキング	8,731	8,032	920	1,356	1,999	1,474
キャンプ・カヌー	86,116	41,627	483	99,735	50,927	511
ゴルフ	49,301	523,600	10,620	51,031	609,267	11,939
夏祭り・もみじ・鍋	20,000	11,400	570	3,000	21	7
いこいの館	34,478	43,199	1,253	-	-	-
宿泊	2,274	21,353	9,390	2,081	20,296	9,753
計	206,009	650,741	3,159	163,159	684,293	4,194

計画テーマ ◎交流の拡大と産業振興

①新しい人の流れの創出

④マルチメディアによる情報発信回数

（単位：件）

目標値：80件 （計画期間累計）		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	計
	各年度実績	18	28	23		69
	累計	18	46	69		

【目標値設定根拠】

年間20件、計画期間4年で80件を目標設定しています。

【所管課評価】

今年度はFacebook「かさぎ カッサイ ー活彩ー」に絞り情報発信を行いました。なお、お茶の京都DMO、JR西日本等との民間連携によりJR西日本主要各駅構内のデジタルサイネージを活用した観光周知活動に取り組むなど、民間事業者の情報発信サイトを活用し、交流人口の拡大に努めました（商工観光課）。

笠置小学校・中学校の案内ページの作成や、地域自主活動団体の紹介や企業との連携を伝える「まちのミカタ」というカテゴリーページを新たに起こし、前回委員より意見をいただきました「見てもらえるような内容」を意識しながらページの掲載に努めました（企画調整課）。

⑥ふるさと納税特産品数

（単位：品目）

目標値：60品目 （累計） 令和2年度末：45品目		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	計
	各年度実績	23	5	27		55
	累計	68	73	100		
うち町補助による返礼品開発数						

【目標値設定根拠】

ふるさと納税の新規品目として年間3件もしくは4件を目標として設定しています。

【所管課評価】

令和5年度において、返戻品数が100品目となりました。定期的に返礼品が送付される「定期便」の導入や、電子マネーの活用など、各事業者において創意工夫され取り組まれています。

また、寄附者に対して訴求効果を高める為に「掲載写真」「掲載文書」を工夫し、併せて、令和5年10月に創設された「京都府市町村連携型ふるさと納税制度」に参画し、府内市町村との連携による新規返礼品の造成や、これら返礼品をPRする窓口として「さとふる」「楽天」に加え「ふるなび」「ふるさとチョイス」との大手キャリアと連携する準備をしています。

引き続き、笠置町を応援いただけるような多様な返礼品の開発に取り組み、いただいた寄附金の具体的な活用方を明確にし、より一層、多くの寄附者の共感を得たい（商工観光課）。

<主な事業>

◇公共無線LANの整備

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、笠置町産業振興会館・笠置キャンプ場を対象エリアとしてWifi環境を整備（その後整備事業なし）

笠置町まち・ひと・しごと創生戦略 掲載目標値達成状況（令和5年度末）

②交流拡大による産業の活性化

◎誘致事業者数

（単位：件）

目標値：5件 （計画期間累計）		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	計
	各年度実績	0	0	2		2
	累計	0	0	2		

【目標値設定根拠】

第1期の計画期間中は5件の開業があったため、1年1件として設定しています。

【所管課評価】

過去に開催された創業説明会（主催：笠置町商工会）、及び個別相談会出席者がそれぞれ「創業」「具体的な創業準備」に繋がりました。今後も遊休施設の活用と創業を念頭に、商工会、不動産業者と連携を密に取り組みます（商工観光課）。

◎サテライトオフィス誘致事業者数

（単位：件）

目標値：4件 （計画期間累計）		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	計
	各年度実績	0	1	0		1
	累計	0	1	1		

【目標値設定根拠】

年に1件程度の契約を目指すこととして設定しております。

【所管課評価】

約10社程度の視察がありましたが、限定された利用方法等、民間事業者が希望する利用方法とのマッチングに至りませんでした。今後も継続して「使い易さ」を検討し誘致活動に取り組みます。なお、ドロップイン利用者の増加や、住民を含めた交流の場としても積極的に活用できる方策に取り組みます（商工観光課）。

<主な事業>

◇商店等を含めた企業誘致の推進

◇空き家・空き店舗の改修支援

（次頁「⑤住宅取得費用等の補助制度活用者数」にて掲載）

◇合併処理浄化槽設置事業補助金の導入

令和4年度補助実績：5人槽・7人槽、共に1基ずつ

（従前より浄化槽設置に関しては10万円を町単独で上乘せ補助）

計画テーマ ◎移住・定住の促進

①住まいの確保

⑤空き家バンク登録物件数

（単位：件）

目標値：15件 （計画期間累計）		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	計
	各年度実績	5	2	3		10
	累計	5	7	10		

【目標値設定根拠】

年間約4件、計画期間（令和3年度から令和6年度）で15件の目標としています。

【所管課評価】

令和5年度4月時点でHPに掲載されていた物件数は4件あり、そこから新規の登録物件が3件ありました。年度内で取り扱った物件は計7件、そこから3件マッチングしHP掲載物件は令和6年3月末で4件です。移住相談件数も令和4年度比較するとおよそ2倍に増えており移住の需要は増加傾向にあります。

現状、移住希望者に対し新規の物件登録数が少なく、空き家の掘り起こしが早急の課題です（商工観光課）。

⑥住宅取得費用等の補助制度活用者数

（単位：件）

目標値：5件 （計画期間累計）		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	計
	各年度実績	2	0	4		6
	累計	2	2	6		

【目標値設定根拠】

前回計画期間では4件の活用実績があったため、年間1件以上を目標として本計画期間である4年間で5件を目標値として掲げています。

【所管課評価】

令和5年度は移住促進住宅整備事業の補助金1件、家財道具等の撤去等への助成事業の補助金2件、空き家流動化対策事業の補助金1件、計4件の補助金活用がありました。

住宅整備、空き家流動化の補助金は町と府で折半している関係もあり、京都府の許可基準や申請スケジュールに左右され、年度をまたぐ改修工事ができない、家財道具をマッチング後に撤去しないと補助対象にならない（家財道具を撤去してからHPに掲載したほうがマッチングの可能性が高まる）等、細かくあるので、申請者への十分な説明を行う必要があります（商工観光課）。

<主な事業>

◇空き家調査と連携した空き家バンクへの物件提供促進

◇空き家バンク登録に向けた活用支援

◇三世代同居・近居のUターン者等への住宅取得（改修）費用の補助制度

●笠置町新婚世帯住宅支援事業

対象者：申請年度中に婚姻届けを受理された世帯で、次の全てに該当される方

- 1.笠置町内居住者
- 2.世帯の直近所得が500万円未満の世帯で、夫婦双方または一方が39歳以下の世帯
- 3.町税等未滞納世帯

補助内容：笠置町内での住宅購入・賃貸、引っ越し費用など

- 1.世帯所得400万円未満で夫婦双方が39歳以下の世帯 上限30万円
- 2.世帯所得500万円未満で夫婦の一方が39歳以下の世帯 上限18万円

●笠置町子育て世帯住宅支援事業

対象者：次の全てに該当される方

- 1.子ども（妊娠中の胎児を含めて18歳未満の子ども）が3人以上の世帯または、新たに三世代同居・近居となる世帯（現在、三世代同居・近居状態にある場合は対象外）であって、町内に居住（居住予定含む）する世帯
- 2.子どもの親権者の年収の合算額が750万円未満の世帯
- 3.町税等の滞納がない世帯

補助内容

- 1.住宅リフォーム：住宅のリフォームに係る経費の2分の1を補助（100万円上限）
- 2.住宅購入：住宅の購入に係る仲介手数料に関する経費の2分の1を補助（40万円上限）
- 3.住宅賃貸：住宅の賃貸に係る仲介手数料に関する経費の2分の1を補助（5万円上限）

→ いずれの制度も令和4年度活用実績なし

◇子育て世代向け住宅の整備の検討

笠置町まち・ひと・しごと創生戦略 掲載目標値達成状況（令和5年度末）

②移住・定住情報提供の仕組み等の構築

③ホームページのアクセス数

（単位：件/月）

目標値：240,000件/月		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	アクセス総数	234,469	256,963	217,817	
	うち空き家	－	1,464	1,832	

【目標値設定根拠】

令和2年度の実績179,950件/月があり、年間15,000件/月ずつ増加するとして240,000件/月となるよう目標値を設定しています。

【所管課評価】

令和5年度には、防災行政無線の更新に合わせ、緊急防災情報をホームページと連動できるよう機能強化を行いました。また無料通話アプリ（LINE）の導入も進めており、ホームページと合わせ情報発信の強化に取り組んでいます（総務財政課）。

<主な事業>

- ◇笠置町HP等を活用した情報収集・発信
- ◇地域おこし協力隊・集落支援員等の導入推進

笠置町まち・ひと・しごと創生戦略 掲載目標値達成状況（令和5年度末）

2. 「安心して暮らせるまちをつくり、結婚・妊娠・出産・子育ての希望を実現する」として掲げる
目標値実績

基本目標その1：出生数

（単位：人）

目標値：20人 （計画期間累計）		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	計
	各年度実績	2	3	3		8
	累計	2	5	8		

【目標値設定根拠】

平成28年度と令和元年度に前計画期間内として最多となる4名の出生があったとして、年間5名を目指し、計画期間中の出生数を20人として設定しています。

基本目標その2：婚姻数

（単位：組）

目標値：5組 （計画期間累計）		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	計
	各年度実績	2	11	2		15
	累計	2	13	15		

【目標値設定根拠】

第1期計画期間において5組の婚姻があったことから、本計画においても同数の5組を目標値として設定しています。

計画テーマ ◎くらしを守る機能の維持・強化

①防災・減災対策

①A 防災協定の締結数

目標値：21団体 (累計) 令和2年度末：17団体		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	計
	各年度実績	3	4	2		9
	累計	20	24	26		

【目標値設定根拠】

令和2年度末時点で総務財政課所管が9団体、建設産業課所管が8団体の締結があったため、1年1団体の締結を目標に設定しています。

【所管課評価】

令和5年度においては、東部3町村間で「災害時等における相互支援に関する協定」を締結しました。このことにより、平時はもとより緊急時の場面での連携・協力体制がより強固なものとなりました。引き続き実用性や実行性のある協定を模索し、近隣市町村を含めた協定の締結について検討します（総務財政課）。

< 主な事業 >

◇ 防災備蓄の充実

◇ 倒壊等の恐れのある危険家屋撤去に向けた助言・指導等

国のガイドラインに沿った「笠置町空き家等対策計画」を作成中で、現在京都府住宅課へ内容について照会中にあります。

◇ 防災施設整備等に係る関係機関への要望

②交通利便性の向上

②B 笠置駅舎の利用者数

(単位：人/日)

目標値：220人/日	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	126	125	123	

【目標値設定根拠】

毎年10人から20人程度減少している状況であるため、1割程度の増加を目標値として設定しています。

【所管課評価】

交通利便性の向上を図るため掲げられた笠置駅舎の利用者数ですが、関西本線の利用を背骨とした施策を笠置町だけでなく、相楽東部エリアを含めた施策を講じてはいるものの、数値として駅舎利用の促進に繋がっていないものとなっています（商工観光課）。

笠置町まち・ひと・しごと創生戦略 掲載目標値達成状況（令和5年度末）

◎町内循環バス等の利用者数

（単位：人/月）

目標値：1,000人/月	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	745	677	976	

【目標値設定根拠】

令和元年度実績が831人/月となっていたことから、1,000人/月を目標値に設定しています。

【所管課評価】

町内循環バスや広域バスの運行については住民生活に定着しており、欠かせない公共交通となっています。コロナ禍も明け人々の移動も増加したことから、昨年度と比較すると利用者数は増加傾向にあります。しかし、利用のない時間帯もまだまだ多く、令和6年6月中旬から社会実験とし8月末頃まで町民以外の利用者の受け入れも実施しています。町民の利便性を損なわず関係人口の増加につながる利用方法の検討を進めています（商工観光課）。

※町内循環バス11,716人/年

③地域コミュニティの形成

④地域で活動する組織等への支援実施回数

（単位：件/年）

目標値：10件/年	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	6	7	7	

【目標値設定根拠】

町づくり事業補助金（総務財政課所管）6件と住民主体の通いの場事業（保健福祉課）4件の活用を目標値として設定しています。

【所管課評価】

まちづくり事業補助金制度は、毎年6つの区で活用され、地区内の草刈り等や集会所における備品の購入等に充当されています。高齢化が進む中、特に草刈り等区内の整備に対する補助金活用が増加しており、さらに活用しやすい制度設計が必要です（総務財政課）。

一方で介護予防・閉じこもり予防などを目的に町単独事業として設けられた笠置町住民主体の通いの場事業については、令和5年度において1件の活用がありました。本制度の周知等に努め、地域コミュニティのみならず、住民の介護予防などに役立つよう尽力いたします（保健福祉課）。

計画テーマ ◎出生率の上昇

①子育てしやすい環境の整備

⑤結婚新生活支援実施回数

（単位：件/年）

目標値：5件/年	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	0	0	0	

【目標値設定根拠】

京都府制度の結婚・子育て応援住宅総合支援事業の活用件数として5件を目標値に設定しています。

【所管課評価】

新婚世帯や多子世帯を対象(所得制限有)に、住宅の取得や賃貸に係る費用、リフォームに係る費用の助成をすることとして結婚・子育て応援住宅総合支援事業を実施しています。

令和5年度実績としては0件となってしまいましたが、年度末には当事業についての問い合わせもありました。引き続き笠置町での新生活を迎えられる方々向けの様々な施策とワンセットで周知し、子育て環境整備を進めたいと考えております（保健福祉課）